



むなかた市議会だより

令和2年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>

令和元年度決算を認定

一般会計

歳入 377億 363万円
歳出 364億5844万円

令和2年第3回宗像市議会定例会が、8月31日から9月25日までの26日間で開催され、市長提案の議案27件、請願1件、意見書案2件について審議を行いました。

本定例会では、皆さんが納めた税金などがどのように使われたのか、9つの会計の令和元年度決算審査を2つの特別委員会で行い、全ての会計の決算を認定しました。

令和元年度決算審査の内容

前年度の決算と比較して特徴的なものは、歳入では、法人市民税や固定資産税の増収により、市税全体で1億2千万円増。歳出では、社会保障関係経費のうち障害者福祉費が2億2千万円増、児童福祉費が2億1千万円増となったことです。

また、元年度の事業実績として、以下のような報告がありました。

- ・企業誘致…シテイプロモーションなどによる市の知名度向上により、3社が市内で操業を開始し、市内の雇用拡大につながった。
- ・障がい者支援…障がい者の社会参加や経済的自立に向け、就労移行支援事業、就労継続支援事業などの福祉サービスを提供。16人の民間企業などへの一般就労につながった。

- ・団地再生…日の里地区のまちづくりを進めるため、UR日の里団地東街区での事業実施にあたり民間事業者と連携協定を締結。ハウスメーカーをはじめとした共同企業体を持つノウハウを活用し、地域課題解決につなげた。
- ・ため池危険度調査…市内の30のため池を調査した。危険度Aランクであった2池については改良工事を実施。Bランク、Cランクについても順次対応予定。
- ・産業振興…消費税引き上げ後の家計の負担緩和と消費の下支えを目的に、プレミアム率25%の商品券を発行。
- ・子ども相談事業の拡充…子ども家庭相談員の常勤化やスクールソーシャルワーカーの増員を行い、相談事業の強化を図った。

主な意見

《賛成者の意見》

▽子ども家庭相談員の常勤化やスクールソーシャルワーカーの増員、不登校や引きこもり傾向の児童生徒に対する家庭訪問相談指導員派遣事業の開始、市長のトップセールスなどによる企業誘致の実現などを評価する意見がありました。

また、基金運用の成果などにより財政調整基金からの繰り入れを行わず、さまざまな事業実施を可能とした

・市民図書館…10月に電子図書館サービスを開始した。新型コロナウイルス感染症の影響による閉館もあり、約1800回の貸し出しがあった。

(※)元年度決算の詳細は、本号(11月1日号)のむなかたタウンプレス4～5ページ参照

全員賛成で可決

令和2年度一般会計補正予算(第7号)について

歳入歳出をそれぞれ11億7514万1千円増額し、総額を481億4830万8千円とする歳入歳出予算の補正が提案されました。

今回の補正予算では、国からの交付金を財源に、新型コロナウイルス感染症に対応した社会経済の構築を目指し、同感染症対策に関する予算などが計上されています。

新型コロナウイルス感染症に対する緊急支援対策

行政サービス・事務のIT化推進… 2億9449万4千円

- ▼リモートワークの推進
WEB会議環境整備、感染防止に配慮した相談体制強化(DV・虐待)など
- ▼ICTを活用した業務効率化、サービス提供体制の向上
児童手当の電子申請化、河川の水位監視カメラの設置など

市内事業者への追加経済支援…………… 1億円

- ▼「宗像市ウィズコロナ対応支援補助金」を新設
新たな生活様式への対応などを行う中小事業者に上限20万円を補助

公共施設の感染症拡大防止対策…… 1億5402万4千円

- ▼指定管理者への感染症対策支援 など

SDGsビジネス創出推進事業…………… 217万円

- ▼SDGs未来都市の取り組みとして「fabbit宗像」の利用を促進

本市は令和2年7月に「SDGs未来都市」に選定されました



赤間駅南口にある創業拠点施設fabbit宗像

主な意見

(賛成者の意見)

▽新型コロナウイルス感染症緊急支援対策について、タイムリーにスピード感をもって対応したことを評価するといった意見や、学童保育所の感染症対策への支援を求める要望などがありました。

ピックアップ!

公園条例の一部改正について

全員賛成で可決

宗像市公園条例が改正され、公園占用料の一部が変更になりました。

主な改正内容は、都市公園の建物内に保育所やその他の社会福祉施設を設置した場合、建物にかかる占用料も徴収されることになるものです。

現在、市では待機児童解消のため、宗像ユリックス内に保育所分園の整備を進めており、完成すれば改正後の占用料が適用されます。

この分園は0歳児から2歳児までを保育の対象とし、定員は20人となる予定です。

市では宗像ユリックス内に分園を整備することで、同施設内の図書館やアクアドームなどの連携、また、イベントの際の分園での託児サービスなど相乗効果も見込んでいます。



宗像ユリックス

その他の補正予算

オンデマンドバス運行事業

日の里地区を運行する西鉄バスが今年度末で廃止となることから、代替交通としてオンデマンドバス(※1)を試験的に運行するため、導入委託料や運行負担金などの経費を新規計上(1,333万円)。

(※1)オンデマンドバス…スマートフォンのアプリや電話などで予約できる乗り合い型の移動手段。AIを活用し、効率的なルートを決定する。



令和2年9月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和2年9月1日から4日の4日間にわたって、18人の議員が合計38項目の質問を行いました。

- ◆質問を行った順に掲載しています。
- ◆掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。
- ◆質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



行財政改革の進め方について
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 各種事業の廃止や公共施設の統廃合などを進めるに当たり、市民への丁寧な事前説明は市と地域住民との信頼関係構築につながる。市の情報公開に関する考え方を伺う。

答 事業の廃止や見直しを円滑に進めるには、市民、関係団体の理解促進は重要であり、丁寧な説明を行っていく。

神湊地区活性化について

問 既存集落付近は道路の整備が必要と思うが、整備の計画はないのか。

答 用地買収を伴う拡幅計画はない。今後、地域



待機児童対策について

問 待機児童解消のための施策は。

答 宗像ユリックス内や日の里東街区再整備において分園を設置するなど、既存施設を利用しながら定員枠拡大を図る。



安全・安心な教育の提供を
むなかたクラブ／北崎 正則



問 学校の新型コロナウイルス感染症対策は。

答 マスクの着用、手洗いの励行など、国や県のマニュアルなどに基づき具体的対策を定め、感染防止に取り組んでいる。

問 学校行事など体験活動の今後の見通しは。

答 運動会、体育祭、修学旅行は、対策を講じながら実施する方向で協議し、校外学習などは、感染の状況を見て検討する。

問 児童・生徒へのタブレット端末整備の状況は。

答 今年度末までに全ての整備を完了する予定。学校給食調理室の火



災の原因と今後の対応は。

答 原因は消防の報告を待っている。迅速な誘導と行動で全員無事に避難した。今後、給食室の火災予防強化を図る。12月の施設復旧まで給食は近隣校で調理し、運搬する。

その他の質問
本市が目指す持続可能な社会



アフターコロナの観光戦略を
宗像志政クラブ／吉田 剛



問 コロナ禍のマイクツーリズム（※1）推進は。

答 感染防止対策を行いながら近隣からの修学旅行誘客などを図るため、観光資源を整備し、発信できるように観光協会などと連携し進めている。

問 SDGs未来都市を観光に生かす考えは。

答 宗像版観光DMO



（※2）の構築や本市の自然を生かしたツーケーション（※3）を推進。

八並川の水害防止を

問 八並川の災害リスクと、市による管理は。

答 50年に1回の洪水被害として、県道沿線や終末処理場付近の田畑の浸水が想定される。必要により、合流する水路や側溝の清掃などを進める。

問 今後、八並川をどのように管理していくか。

答 現在も県へ河川改修を強く要望している。今後とも市と県で情報を共有し、連携して解決を図る。



新型コロナによる産業への影響は
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 商工業への影響は。

答 緊急事態宣言による休業要請等の影響により、サービス業を中心に大打撃を受けている。補正予算により小規模事業者緊急支援金、創業者臨時応援金、プレミアム付き地域商品券の発行など、事業者支援を行っている。

問 農業・漁業の影響は。

答 共に外食需要の低迷



により一部市場価格が下落している。今後、高収益作物の次期作支援や漁獲物の高付加価値化などに取り組む。

SDGs未来都市として

問 農業・漁業が継続するために環境面から考える取り組みは。

答 農業では耕作放棄地増加による環境悪化を抑制するため、農地集積や担い手確保に取り組む。漁業では藻場造成のほか、漂流・漂着ごみの回収など漁協と協力し、海洋環境の改善に積極的に取り組む。



計画等の策定について
政道むなかた／安部 芳英



問 計画等の策定の際、市民参画推進条例には、条例に定める市民参画手続を実施しない場合は、その理由を公表しなければならぬと規定しているが、なされていないものがある。公表しなければならぬものではな

答 指摘のとおりである。職員に再度周知し、今後、条例に沿った適切な運用に努めていきたい。

赤間小学校の課題は

問 赤間小学校の裏山を含む住宅団地開発には、市と住民との理解に乏し



赤間小学校の裏の土砂災害警戒区域

があると感じる。児童の施設面の環境にはどのような課題認識があるか。

答 長期にわたる仮設校舎による不足教室対応や施設老朽化など学習環境改善が必要な時期と認識している。学童保育においても、土砂災害の危険要因の除去が最優先課題であり、今年度中に危険性を解消する考えである。



感染拡大、市としてできることは
公明党／岡本 陽子



問 宗像、遠賀管内でのPCR検査数、陽性率は。また、市民から発熱を理由に受診を拒否された市の広報紙に掲載されている相談窓口電話番号もつながらないという声がある。市は市民の声を収集し、県と連携して対策を講じる必要があるのでは。

答 8月26日時点のPCR検査数は3675件、陽性率1.9%である。医療機関の受け入れが困難、帰国者・接触者センターに電話がつかりにくいことは承知している。かかりつけ医から受診を



断られた、かかりつけ医がないという市民には、厚労省が掲載しているオンライン診療ができる医療機関の紹介や、受診までの流れについて県や医師会と連携し相談フロー図を作成、周知していく。

その他の質問
学校オンライン教育の展望は

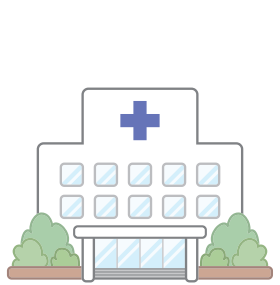


コロナ禍における自治体の責務は
日本維新の会／岩岡 良



問 罹患した際に重症化リスクの高い高齢者や障がい者と、密に接する家族や医療・福祉施設の従事者が予防的にPCR検査を受ける際の費用助成や医療機関に対する支援が必要では。

答 検査体制には医師会の協力が必要であり、費用助成は多大な財政負担が課題である。



指定難病や小児慢性特定疾病患者に対する支援を

問 指定難病や小児慢性特定疾病患者のなかでも、医療費助成を受けることができない場合があるため支援の拡大を求めている。対象疾病数の増に伴い想定されていない日常生活用具の必要性がでてきていることから、今後支援制度の見直しを行う。



コミュニティ施策の推進を
宗像志政クラブ／神谷 建一



問 新型コロナウイルス感染症対応のため、コミュニティの事業活動自粛が続いている。高齢者健康促進事業・子どもの安全・安心な見守り事業など問題はないのか。コロナ禍での積極的な事業の再開に向けて、市の方針は。

答 多くの事業が感染リスクで中止された。再開に向けてガイドラインを揭示し、実施判断の着眼点、留意点を示している。

問 「地域の子は地域で育てる」学童保育所の運営を現在吉武・赤間地区コミュニティ運営協議会

で担っているが、他地区に広げる考えはあるか。

答 他地区に意向があればぜひ参画いただきたい。

問 老朽化が著しい赤間小学学童保育所に関し、建て替えを含めた協議会などの設置は考えられないか。

答 学童関係者の意見を聞きながら、赤間小全体の大規模改修検討と併せて総合的に判断する。



（※1）マイクツーリズムは近隣の宿泊観光や日帰り観光。（※2）DMOは地域の交流人口拡大のために多様な関係者と協働しながら、観光地域づくりを実現するための戦略の策定など調整機能を備えた法人組織。（※3）ツーケーションは通学環境が整った観光地などで休暇を取りながら遠隔勤務をする働き方。

生中継 9,037件 録画映像 3,400件

高齢者の大島・地島への渡船料金
日本共産党／植木 隆信



高齢者が公園を利用する際困るのが、トイレがないことである。トイレの設置ができないか。多くの利用が見込まれる公園には既にトイレを設置している。新しく設置するには防犯上や衛生上などの課題がある。

問

市は70歳以上の島外市民を対象に渡船料金の半額を助成していたが、行財政改革の一環として今年度から廃止した。半額助成に戻せないか。

答

社会保障関係経費が大幅に増加するなか今後高齢者が安心して暮らせるよう、まずは日常生活での支援が必要な人のための予算を確保したい。

オンデマンドバス導入の進捗は
市民連合／福田 昭彦



来年3月末で西鉄バスが日の里団地から完全撤退の予定である。高齢化社会にとって公共交通は大事な社会インフラであり、日の里地区におけるオンデマンドバス導入は団地再生が成功するかどうかの大きな要因となる。

問

オンデマンドバス導入の進捗状況と課題は。

答

本年7月に住民説明会を開催した。10月から運行準備、乗車方法の説明会などを実施し、来年4月から実証実験のための運行を予定している。課題はオンデマンドバスに対する住民の認識が十分ではないことである。

問

UR日の里団地東街区再生事業の進捗状況は。

答

生活利便施設エリアの一部が11月にプレオープンする。戸建エリアは解体工事が年末に終了予定で、令和3年秋頃に造成が完了し、住宅建築を開始する。令和4年春頃に入居開始予定である。



公園にトイレの設置を



問

高齢者が公園を利用する際困るのが、トイレがないことである。トイレの設置ができないか。多くの利用が見込まれる公園には既にトイレを設置している。新しく設置するには防犯上や衛生上などの課題がある。

答

社会保障関係経費が大幅に増加するなか今後高齢者が安心して暮らせるよう、まずは日常生活での支援が必要な人のための予算を確保したい。

提出議案と議決結果

9月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内容
財産の取得について	宗像市立学校で使用するタブレット端末を購入するために物品売買契約を締結することに伴い、条例の規定により議会の議決を求めるもの。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案番号など	議案名	議員氏名 議決結果	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	笠井 香奈枝	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	岡本 陽子	北崎 正則	伊達 正信	神谷 建一	福田 昭彦	小島 輝枝	新留 久味子	石松 和敏	植木 隆信	末吉 孝
65	宗像市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
66	宗像市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
69	訴えの提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
71	令和元年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
73	令和元年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
74	令和元年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
75	令和元年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
79	令和元年度宗像市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
請願第1号	「核兵器禁止条約への参加を求める」意見書を採択し政府及び国会に送付することを求める請願	不採択	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	○	○	◆	○	○
意見書案第2号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出について	否決	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	○	○	◆	○	○

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

請願

「核兵器禁止条約への参加を求める」意見書を採択し政府及び国会に送付することを求める請願
(賛成少数で不採択)

（請願者）
陵厳寺二丁目
むなかた九条の会事務局
次長 長田 正幸さん
ほか4団体5人

（要旨）
原子爆弾が広島、長崎に投下されてから75年を迎えた。人類の願いである核廃絶を目指して、「核兵器禁止条約への参加を求める」意見書を採択し、政府及び国会に送付する

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
(全員賛成で可決)

（要旨）
新型コロナウイルス感染症の蔓延により、わが国は戦後最大の経済危機に直面し、大幅な税収減などにより、地方財政はこれまでになく厳しい状況になることが予想される。実情に応じた財源の確保を国に要求するため、意見書を提出する。
●地方税などの一般財源

ことを求める。
(審査内容と結果)

審査を付託された総務常任委員会では、請願者の意見陳述の後、審議を行った結果、賛成多数で採択しました。本会議最終日には、請願に賛成した委員から核兵器禁止条約への参加を求める意見書案が提出されましたが、本会議の採決では、請願は不採択、意見書案は否決となりました。
(主な意見)
〈反対者の意見〉
平和を願う気持ちは理解できるが、核兵器を保有することで戦争が抑止されているという政府の考えを支持している。

12月定例会の
日程
(予定)

日程	内容
11/30月	本会議 (議案上程、提案理由の説明)
12/1火	本会議(一般質問)
2水	本会議(一般質問)
3木	本会議 (一般質問、大綱質疑)
4金	本会議予備日
7月	総務常任委員会
8火	社会常任委員会
9水	建設産業常任委員会
11金	予算第1 特別委員会(※1)
14月	予算第2 特別委員会(※2)
15火	委員会予備日
18金	本会議 (委員会報告、質疑、討論、採決)

※1 予算第1：一般会計
※2 予算第2：特別会計・企業会計

編集後記

この2年間、市民の皆さまに議会だよりを読んでもただけるよう、北崎部会長を中心に、議会活動をわかりやすく伝える工夫をしてきました。「議会だよりを読んだよ」という言葉を聞くと、うれしさや身が引き締まる思いがしました。皆さまに感謝申し上げます。
広報編集部会 副部会長 笠井 香奈枝

市議会のくわしい情報や議会中継は
ホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索

お問い合わせは
議会事務局へ
Tel.0940(36)1119

ホームページ
QRコード

改選後の最初の定例会となります。

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。

請願の提出締切日は11月20日(金)です。

本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページでご確認いただくか、もしくは議会事務局へお問い合わせください。